2006年度　線形代数II　演習問題（第2回）

- レポートではなく自習用の演習問題なので，解答を提出する必要はありません。
- 解答は，来週中に線形代数IIのホームページに掲載します。

問題1

(1) $\mathbf{R}^3$ に属する2本のベクトル $\mathbf{a}$，$\mathbf{b}$ に対し，

$$(\mathbf{a},\mathbf{b}) = {}^t\mathbf{a}\begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 3 \end{pmatrix}\mathbf{b} \tag{1}$$

と定義する。このとき，$(\mathbf{a},\mathbf{b})$ は内積である（すなわち，教科書 p. 78 の (R1) 〜 (R4) を満たす）ことを示せ。

(2) n 次以下の多項式 $f(x)$，$g(x)$ に対し，

$$(f,g) = \int_0^\infty e^{-x} f(x) g(x)\,dx \tag{2}$$

と定義する。このとき，(f,g) は内積であることを示せ。ただし,「$h(x) \geq 0$ を満たす連続関数 $h(x)$ について，$\int_0^\infty h(x)dx = 0$ ならば $h(x) = 0$」であることを使ってよい。

問題2

計量線形空間 V の要素の集合 $F = \{f_1, f_2, \ldots, f_n\}$ が，V の内積に対して

$$(f_i, f_j) = \begin{cases} 1 & (i = j \text{ のとき}) \\ 0 & (i \neq j \text{ のとき}) \end{cases} \tag{3}$$

を満たすとき，F は正規直交系をなすという（すなわち，正規直交系は，正規直交基底から基底であるという性質を抜いた概念である）。いま，$[0, 2\pi]$ で定義された関数の空間で，内積が $(f,g) = \int_0^{2\pi} f(x)g(x)\,dx$ で定義されているとする。このとき，次の問いに答えよ。

(1) $\left\{\frac{1}{\sqrt{2\pi}}, \frac{1}{\sqrt{\pi}}\sin x, \frac{1}{\sqrt{\pi}}\cos x\right\}$ が正規直交系をなすことを示せ。

(2) $\left\{\frac{1}{\sqrt{2\pi}}, \frac{1}{\sqrt{\pi}}\cos x, \frac{1}{\sqrt{\pi}}\cos 2x, \ldots, \frac{1}{\sqrt{\pi}}\cos mx\right\}$ が正規直交系をなすことを示せ。ただし，m はある自然数とする。（ヒント： 三角関数の積を和に直す公式を用いよ。）

問題3

V を計量線形空間とし，$x, y \in V$ とする。

(1) シュワルツの不等式の証明を見直すことにより，等号が成立するのはどんな場合であるかを考えよ。

(2) ノルムに関する不等式

$$\| x + y \| \leq \| x \| + \| y \| \tag{4}$$

が成り立つことを示せ。（ヒント： 両辺は非負だから，両辺を2乗した不等式を示せばよい。また，必要に応じてノルムの定義を用い，ノルムを内積で書き換えよ。）